

蒲田駅周辺地区基盤整備方針 <概要>

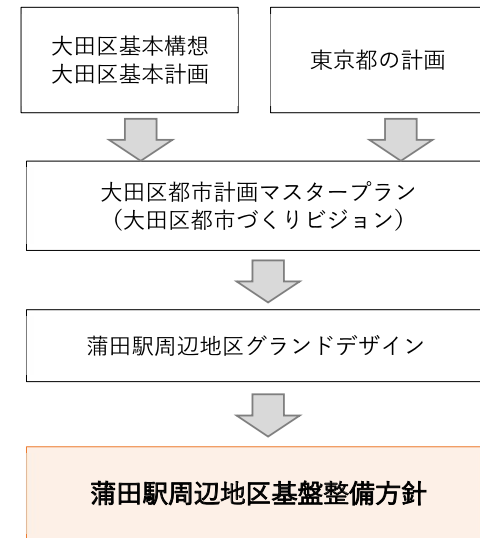
対象とする範囲



基盤整備方針の位置づけ・役割

蒲田駅周辺地区基盤整備方針は、蒲田駅を中心とする地区における公共施設の再編や、駅舎・駅ビル、駅周辺の再開発などを一体的に行うための基盤整備の方針を示すものです。

基盤整備方針策定後は、具体的な施設整備の内容や、その実現化に向けた手順・方策などを検討し、基盤施設整備事業を推進していきます。



基盤施設の整備の方向性

○東西駅前広場

- 東口初期整備との整合性を図りながら **東口駅前広場を拡張・再整備**し、さらなる交通利便性の向上と、駅とまちの一体性を高める駅前空間を創出する。
- 隣接事業者と連携して **西口駅前広場及び南口周辺の歩行者空間を確保**し、ゆとりある駅前空間を創出する。

○駅舎・駅ビル

- 周辺基盤施設整備と連携した **駅ビルの建て替え等**により、駅前空間を充実させる。



○東西自由通路・連絡通路

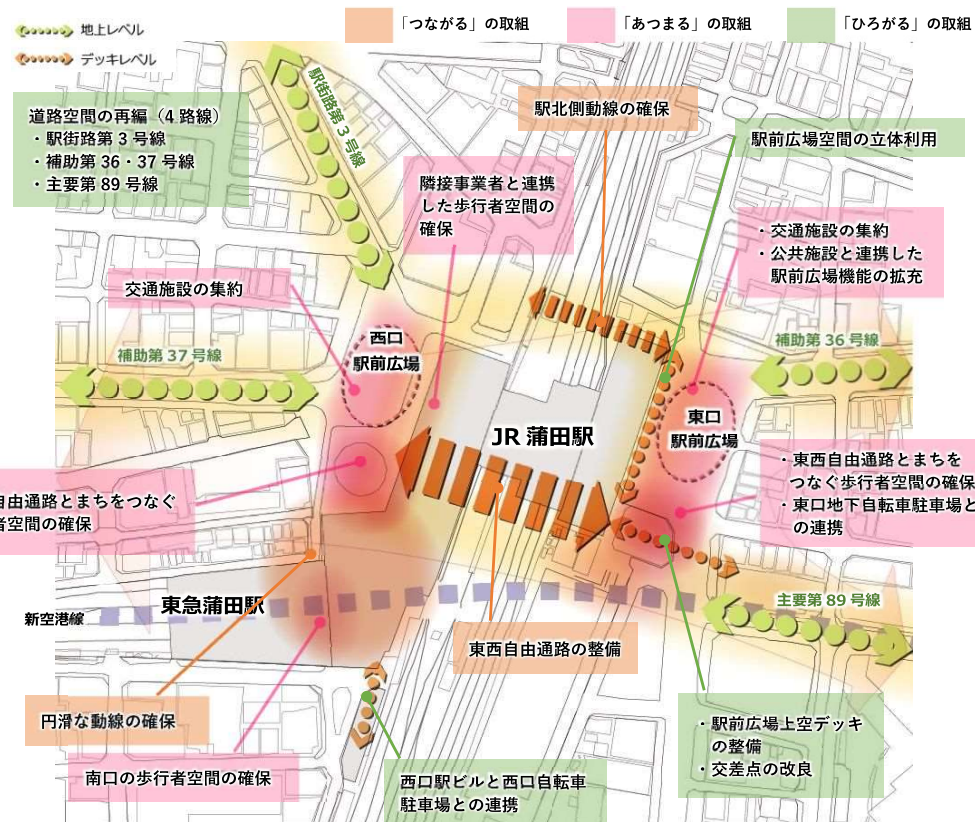
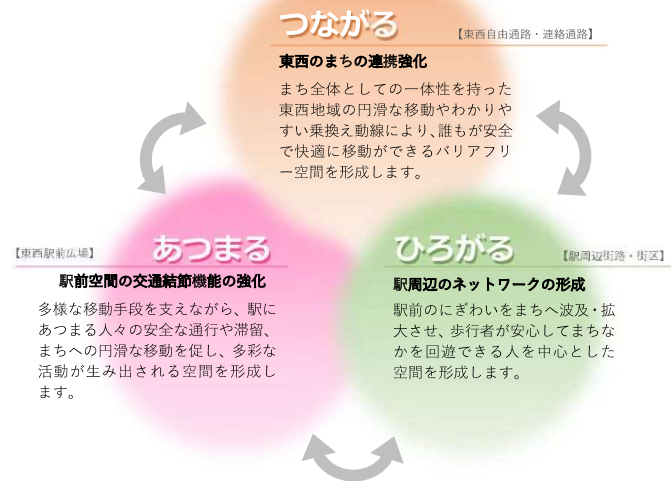
- 駅ビルと連携した **東西自由通路、北側連絡通路を整備**し、東西のまちをシームレスにつなぐバリアフリーな歩行者動線や円滑な乗換え動線を確保する。

○駅周辺街路

- 駅周辺のバス乗降場の駅前広場への集約などにより **道路空間を再編**し、まちなかの回遊性向上と快適な移動環境を創出する。

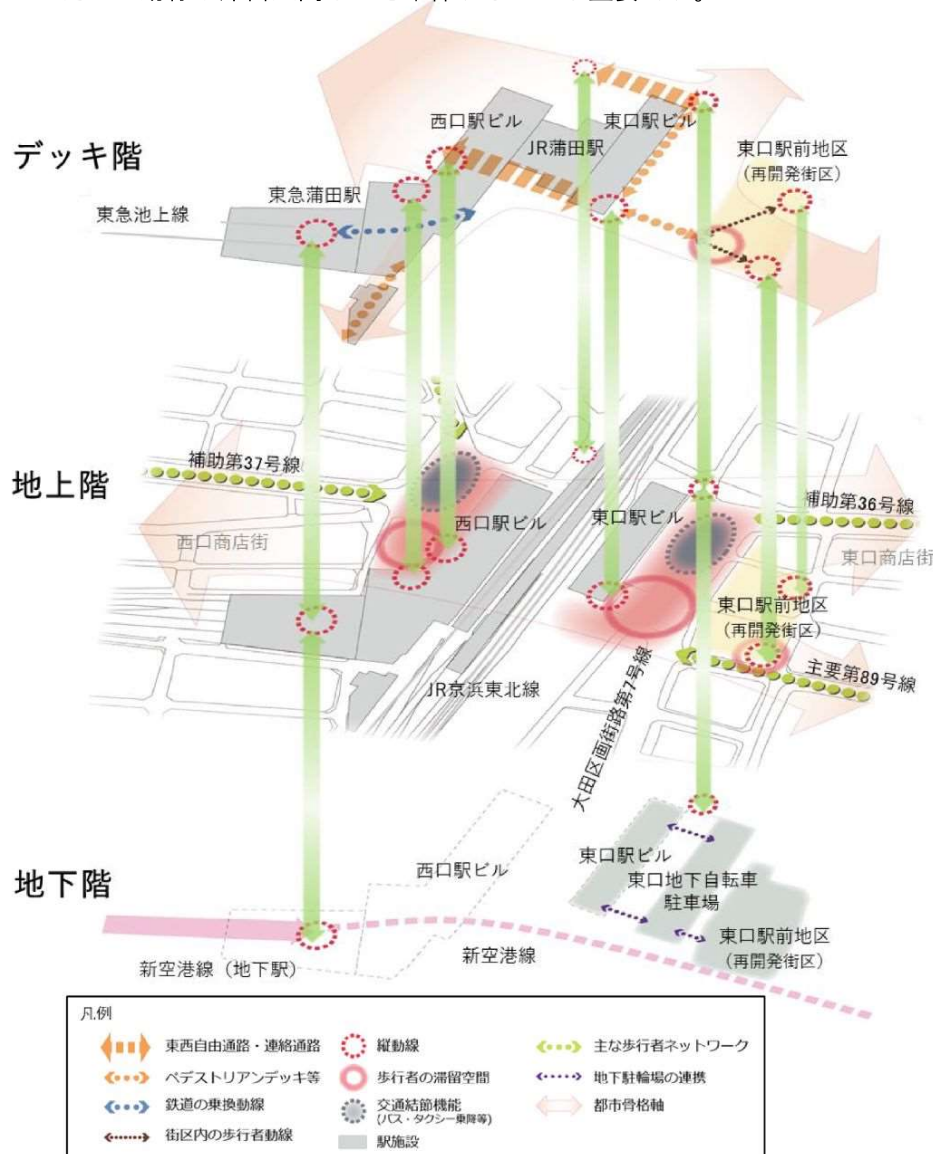
整備に向けた3つの視点と整備イメージ

3つの視点



歩行者動線のイメージ

東西のまちをつなぎ、駅や駅前にあつまる人々や活動をまちへ広げる歩行者ネットワークは、鉄道間の乗換え利用者や、駅からまち、まちから駅へ流れる人々が快適に移動できる歩行環境とし、わかりやすく安全で快適な移動を実現するためには、駅ビルなどの機能更新とあわせて、建物内にも歩行者のための動線や滞留空間などを確保することが重要です。



※今後の各施設整備の検討状況などにより変更の可能性があります。また、各施設の位置や規模などは現時点でのイメージです。